

令和 7 年度

第 6 6 回九州地区高等学校
ワークロ教育研究協議会
および各県代表者会議

議事録

主 催：九州地区商業高等学校校長協会

期 日：令和 7 年 1 1 月 6 日（木）・ 7 日（金）

会 場：沖縄県立那覇商業高等学校

第66回九州地区高等学校
ワープロ教育研究協議会および各県代表者会議 報告

11月6日(木)

会 場：沖縄県立那覇商業高等学校社会科教室
司会進行：沖縄県立那覇商業高等学校 教頭 外間 勝
記録責任者：沖縄県立中部商業高等学校 砂川 直子
記 録 者：沖縄県立那覇商業高等学校 久田 香代子
沖縄県立那覇商業高等学校 大城 美代子

※ 会議開始前に競技会場を視察し、全体会「議題4」に関連するフロアや机の配置、機器などの施設環境を確認した。会議は予定より15分遅れ、12時45分に開始した。

1 開会のことば

沖縄県商業教育研究会競技部 部長
沖縄県立浦添商業高等学校 校長 新垣 安之

2 挨拶

沖縄県商業教育研究会 会長
沖縄県立那覇商業高等学校 校長 新里 彰久

3 自己紹介

紙面にて紹介

4 全体会

議事(1) 令和7年度第66回九州地区高等学校ワープロ競技大会報告

宮崎県立都城商業高等学校 住友 庸祐 先生

【決算報告】

収入の部で(4)宮崎県産業教育振興会の決算額が0円となったのは会員が少なくなり経済的に厳しい状況で補助は無理だと断られたからである。後日になってできると伝えられたが、大会要項が完成し、時期的に遅かったので補助金は断ってしまった。また、(5)宮崎県商業教育研究会商業部会の決算額が0円となったのは予算が無かったからである。

支出の部は、当初の予算額と非常に変わった。予算削減に努め、印刷は業者に頼まず学校で対応した。消耗品の印刷用紙やトナー、インクなどは学校のものを使った。作問手当の決算額が0円となったのは県競技大会の予算で対応したからである。メダルなどは、あまり質が変わらず、安いものを購入するために、いろいろな業者に問い合わせた。かなり予算不足であった。

【アンケート報告】

今回のアンケートは取り方を変えて、グーグルフォームで行った。大会は全体的に大変良い、良い、という回答が多かった。9. 大会問題(技能の部)だが、生徒を惑わせるような問題を作ってしまったので、この問題を当時は配布せずに、後日に本来の競技にふさわしい問題に作り変えて、そのPDFを各県本部校へ送った。

議題（２）各県からの提案事項および要望事項

司 会：沖縄県商業教育研究会事務局長
沖縄県立那覇商業高等学校 末吉 昇一
進 行：沖縄県立那覇商業高等学校 友利 明長
記録責任者：沖縄県立中部商業高等学校 砂川 直子
記 録 者：沖縄県立那覇商業高等学校 久田 香代子
沖縄県立那覇商業高等学校 大城 美代子

1. 【鹿児島県】

前年度、長崎県から自動修正機能について提案された内容について、どのような機能が生徒に有利・不利が生じる可能性があると考えられて、その提案がなされたのかを改めて確認する必要があると感じている。特に、自動修復機能を含めて提案内容全体を確認すると、長崎県が本来意図していない部分まで検討対象に含めることになりかねない。そのため、まずは長崎県が重視している箇所や提案の趣旨を明確にしたうえで、必要な範囲に絞って確認を進めるのが適切ではないかと考えている。

〔理由〕 ワープロ競技大会は全国大会の規定に準じて実施すべきであると考えている。そのため、全国大会の規定に含まれていない自動修復機能については、特別に確認する必要はないと考えるため。

【熊本県】

日本語入力（支援）システムの設定（自動修正機能について）の検証について

〔理由〕 九州大会の引率者打ち合わせ会でも各県での検証等をしてもらい、各県より報告をすることになったため。

【大分県】

自動修復機能については、ATOKとIMEとの整合性を含めて検証し直して欲しい。

〔理由〕 各県にアンケートを実施するなど、利用環境の差が競技に不公平を生じさせないように配慮してほしいから。特定のバージョンでのみ優位性が確認される場合には、対象バージョンを限定して明記してほしい。

【大分県】

自動修復機能の扱いについては、今年度のように「全てのATOKが対象」と受け取れる表記ではなく、明確な対象範囲（対象バージョン含む）を示す資料を作成・配布してほしい。

〔理由〕 IMEとATOKの両方に標準搭載されている機能である以上、ATOKのみ外させるのは不公平であるから。

【沖縄県】

予測入力や省入力等の機能をオフにする対応については、「全国高等学校ワープロ競技大会」及び「全商ビジネス文書実務検定試験」の指示と同様にする。

〔理由〕 7月に行われた九州大会(宮崎大会)において、日本語入力システム設定の「IME予測入力機能の無効化」と「ATOK入力支援(自動修復)の無効化」についてどこまで修復機能を外すべきか」提案があり、本県において継続審議となった。

IMEとATOKには様々な機能に違いがあり、両方の機能を整合させることは難しい。今後両方の日本語入力システムはバージョンアップし、複雑化することが予想され、さらに対応が難しくなる。その度に協議をすることになるため、「全国高等学校ワープロ競技大会」及び「全商ビジネス文書実務検定試験」の指示と同様にする。

※ 別紙資料1～3参照

～参考～

【福岡県】

九州大会後に、福岡県が全商協会へ問い合わせ文面とそれに対する回答です。

全商協会への問い合わせ

「IME, ATOKの設定等について質問があります。この二つの辞書には推測機能と自動修復機能があります。現在、九州大会及び各県大会において自動修復機能をOFFにすることが議論となっています。特に最新のATOKではその機能の精度が高くなっています。そこで質問です。

①全国大会では自動修復機能（オートコレクト）のOFFの確認はしているか？

②しているのであれば、その方法を。

③していないのであれば、自動修復機能についてどうお考えなのか？

例：OFFにすべきだと考える　そこまでチェックすることはしていない。

その他、見解があればお願いいたします。」

全商協会からの回答

「回答は以下のとおりとなります。

①全国大会では自動修復機能（オートコレクト）のOFFの確認はしているか？

②しているのであれば、その方法を。

【回答】確認していない

③していないのであれば、自動修復機能についてどうお考えなのか？

例：OFFにすべきだと考える　そこまでチェックすることはしていない。

【回答】現在、対応を検討しており、方針が決まれば研究協議会で周知する。

日本語入力システム(IME・ATOK)の予測入力については、「全国高等学校ワープロ競技大会」および「全商ビジネス文書実務検定試験」に合わせる。

○「P65 大会規定 申し合わせ事項 9（7）」を削除する。

○「P77・P79 競技進行手順《練習》12」※以下を削除する。

2. 【大分県】

予測入力のチェック箇所のプリントは、九州大会規定と併せて各県に配付してほしい。

〔理由〕 令和5年度（第64回・福岡大会）で決定されているため。IME・ATOKの予測入力の確認画面および確認内容を明記したプリントを、九州大会規定と併せて各県に配付してほしい。

提案通りとする。別紙資料2を配布する。

3. 【熊本県】

日本語入力（支援）システムの設定（自動修正機能について）のIME・ATOKのチェックに関して競技会場内でのスムーズな確認方法等の検討

〔理由〕 競技会場内でチェックをするとなった場合、各県予選でスムーズなチェック方法が必要と考えるため。

従来通りのチェック方法とする。競技委員が別紙資料2で画面をチェックする。

4. 【沖縄県】

会場校の機械(接続されたプリンタを含む)を使用し競技を実施したい。

[理由] ①競技会場を設営するにあたって、機械の撤去・設置、ネットワーク回線の取り外しなどがなくなることにより、会場校の負担が大幅に減る。

②業者に依頼する機械の撤去・設置作業の支出がなく、予算不足の解消に繋がる。

③機械持込校は1校で机1台、機械借用校は2校で机1台を使用する想定であり、競技場(ＰＣ教室)の既存の机で対応可能と見込まれる。

④出場校にとって機械輸送に伴う経費の削減や故障などの心配がなくなる。

⑤1週間後に開催される全国大会に向けて機械等を輸送する際(ＰＣは3日、プリンタは約2週間を要する)、指定日に届くかどうかという懸念が解消される。なお、7月は台風シーズンにあたる。

[課題] ①機械の「ＯＳ・使用ソフト(Ver)・日本語入力システム(Ver)」等を出場校へ伝える。

②機械は設置された状態でそのまま使用する。キーボードやマウスの交換は認める。

③セキュリティのため、機械へのＵＳＢメモリ使用を禁止する。

④競技中における機械の故障・不具合などに対して一切の責任を負わない。

⑤机の割当数が、機械の持込校は1校で机1台、借用校は2校で机1台と異なるため、座席抽選は大会前日の受付で実施することになる。

⑥印刷は、競技委員の指示に従い、選手自ら競技会場に設置されているプリンタに用紙をセットして行う。そのために、進行手順における印刷箇所を変える必要がある。

⑦機械が前日のリハーサルまでに届かなければ、会場校の機械を借用する。

※ 競技会場にある既存の机は20台のみであるため、機械を借用する学校が14校以上でない場合、会場校の機械は使用しないことになる。

第1打者	福岡・鹿児島・沖縄	3県×3校＝	9校	持込校13校→	13台
	他県	2県×5校＝	10校	借用校14校→	7台
	個人	8県×1校＝	8校		20台
			27校		

沖縄県大会では会場校の機械の使用を認める。次のことを留意する。

1. プリンタのみは認められない。

2. 使用する競技会場の机は次の通りとする。

①机は2校で1台を共用する。その際は、机上の境界線をテープ等で明示する。また、サブ机を検討する。

②持込校は限られたスペース内で機械を設置する。

③持込校が少ない場合は1校1台の机を使用する。

④机は対面で向かい合わせとなる。

3. 沖縄県大会以降の九州大会における機械持込・借用に関する事項については、次年度11月協議会にて方向性を検討する(各県での意見集約依頼)。

4. 借用校の印刷は、競技委員の指示により一斉印刷をおこなう。

5. 今回の沖縄県大会に限り印刷に関するエラーはとらない。

6. 技能競技では印刷用紙に競技番号を記入せず、「ワープロ技能競技進行手順(沖縄県大会用)」の通りヘッダー(上からのヘッダー位置10mm)に競技番号を入力し、印刷する。ヘッダーエラーは取らない。別紙資料5参照

7. 借用校に印刷で不具合があった場合は、競技委員がＵＳＢ等を使用し、別プリンタで印刷する。

8. 来年度大会へ向けて、この「会場校の機械(接続されたプリンタを含む)の使用について」の通知文を各県本部校に送る。各県本部校は各出場校へ通知する。

9. 「P77～80 競技進行手順」については沖縄県大会用で実施する。

10. 会場校の機械使用については、大会規定を変更しない。

5. 【福岡県】

機材を会場もしくは事務局の準備したものでの競技も可能にしてはどうか。

〔理由〕 IMEとATOKの設定を事前に設定でき公平になるのではないかな。

沖縄県大会では、会場校の機械を使用可とする。

6. 【佐賀県】

提案、要望とは違いますが、確認をさせてください。団体では、佐賀県大会上位2校が団体出場権を得ますが、個人出場者は団体出場校（全日制）と同じ学校の定時制課程生徒が出場することは可能でしょうか？ちなみに、全国大会出場資格で同様の状況が生じた場合について全商協会に問い合わせたところ、個人出場者は団体出場校以外からとなっており、課程が違って同一校なので、団体出場校（全日制）と同じ学校の定時制生徒は出場不可とのことでした。

〔理由〕 令和7年度佐賀県大会に定時制生徒の出場があり、（同一校ではなかったため）九州大会にも参加しました。今後、同一校の課程違いもありえますので、一度確認をさせていただけたらと思います。全国大会では『全国高等学校ワープロ競技大会要項』D. 出場校に「団体出場校以外から」と明記がありますが、九州大会規定にはないので明確にしていきたい。

「全国高等学校ワープロ競技大会」に合わせる。

○「P19 大会実施要項(案) 11 参加資格」に「(4)全日制・定時制・通信制など異なる課程の併設校は、同一校として出場できるが、団体で出場する場合は、個人として出場することはできない。」を追加する。

○「P60 大会規定 3 参加資格」に「(5)全日制・定時制・通信制など異なる課程の併設校は、同一校として出場できるが、団体で出場する場合は、個人として出場することはできない。」を追加する。

7. 【大分県】

競技進行手順の変更について、競技に関わる変更点が代表者会議で提案された場合、内容によっては各県での審議を経て決定し、その結果を踏まえて周知徹底してほしい。

〔理由〕 競技者に影響の大きい内容については、早急に変更せず継続審議として扱うことを要望する。

競技に関わる変更内容については、紙面にて各県に周知できるよう努める。

8. 【大分県】

代表者会議での変更事項については、紙面で提示し、代表者会議その場で確認できるようにしてほしい。

〔理由〕 口頭のみでの確認は、参加者の理解・確認が徹底できないため、必ず文書での配付を求める。

提案通りとする。

9. 【大分県】

『「令和7年度第66回九州地区高等学校ワープロ教育研究協議会および各県代表者会議」における提案及び要望事項のアンケート』調査用紙には、「2. 継続審議事項」がありませんでした。従来は、「1. 提案および要望事項 2. 継続審議事項」の2項目があったので、継続審議事項をアンケート項目に入れて欲しい。

〔理由〕 継続審議事項の「ある」、「なし」、に関わらず、一昨年度までは、この項目があった。この項目がある事により、継続審議事項の有無の確認ができる。また、継続審議事項がある場合は、各県で事前に協議しなければならないことが明らかとなる。

提案通りとする。

10. 【福岡県】

九州大会において、採点の差し戻しがあった。なぜそうなったのか審査団が協議した内容を顧問に伝えてほしい。当日問題をもらえなかったがその理由も教えてもらえなかった。

〔理由〕 点数にもかかわってくるので早めに知りたい。議論されたことを伝えてくれる方がオープンな大会になる。

技能競技において、審査団による採点の段階で、採点基準の一部に誤りが確認され、該当箇所を修正した。その結果、採点の差し戻し等の対応が必要になった。今後は、審査団で協議した内容をその場で明確に説明する。また、大会当日に問題配布できなかった件については、本協議会でその理由を説明した。出題内容について、生徒から「誤解を招く」「内容が分かりづらい」との指摘があった。これらの意見を踏まえ、問題を修正し、修正版データを各県へ送付した。

11. 【宮崎県】

11月の各県代表者会議で決まったことは、その後変更をしないことをもう一度確認をして欲しい。

〔理由〕 令和6年度の各県代表者会議で決まったことは、自然災害や事故等以外では変えないとなっているため。

提案通りとするが、会議後において規定に誤りがあれば、各県本部校の承諾を得て、大会前日の引率者打合せ会議で確認する。

12. 【宮崎県】

大会に関する規定やルールについての質問は、各県の本部校(事務局)を通し、まとめた形で質問をするようにして欲しい。また、各県代表者会議で決まったことは各県で情報共有をしておいて欲しい。

〔理由〕 大会規定やルールに関するものについては、まず、各県の本部校に確認した後、まとめて質問をしていただけると、開催校への負担が減ると思います。

提案通りとする。

13. 【宮崎県】

スマートフォン等の所持については、競技開始前に引率の先生に預けるということになっております。スマートフォンの使用については、問題漏洩につながりますので、もう一度、この規定について確認して欲しい。

〔理由〕 競技が開始して第1打者が各県控室に帰ってきた後、全ての競技が終わっていないにもかかわらず、スマートフォンを使用している選手がたくさんいました。引率の先生に預けることとなっているが徹底されていなかった。なお、いつから選手はスマートフォンを所持していたのかも事務局として判断できなかった。また、世間一般的に生徒のスマートフォンを預かることに抵抗がある先生や災害時に役立てたいとの考え方もあるので、もう一度この規定について確認していただきたい。

大会前日の引率者打合せ会議で再度確認する。

○「P22 大会運営全般について【11】その他」に「4 携帯電話等の使用は、全競技が終了するまで控えてください。」を挿入する。

14. 【宮崎県】

各県からの採点役員の選出については、何らかの制約があるか教えてください。

〔理由〕 引率者が採点役員になると思いますが、教職員が採点役員をしなければならないのではないかと質問を受けたので事務局として返答に困りました。

○「P65 大会規定 申し合わせ事項 4」を「採点委員は原則として教職員とする。ただし、審査役員名簿に記載された引率者は採点委員として認める」に変更する。

○「P20 大会運営全般について 6 各県委員委託 (2)採点委員」を「各種目とも7 審査役員名簿に記載された引率者」に変更する。

15. 【宮崎県】

参加料の値上げは今後必要かどうか審議していただきたい。

〔理由〕 物価高騰により、運営に対して予算が絶対的に不足しています。8年前と変わらない予算で同じ大会を行うことは難しくなっています。

各県代表者(分科会)で検討した。

予算については別紙4の通り、九州地区商業高等学校長協会各県代表理事会へ提案する。

参加料の変更予定：団体¥5,000 → ¥7,000 個人¥2,000 → ¥3,000

16. 【宮崎県】

審査に関わる先生方は、採点打ち合わせの集合時間を守っていただきたい。

〔理由〕 採点審査室としては、10:00集合・開始のもと、予定を組んでいましたが、最終的に集合完了されたのが10:28となり、大幅に打ち合わせの予定がずれてしまいました。スムーズな進行に協力していただけるためにも、時間に遅れないようにしていただくと開催側も大変助かると思います。宮崎県大会ではうまくいかなかったもので、放送や参加県で声をかけてもらうなどの工夫が必要だと感じました。

提案通りとする。

17. 【沖縄県】

「競技進行《競技上の注意》 6 ③」を「③予測入力などの機能がオフになっていることを確認してください。」に変更したい。

〔理由〕 競技進行の指示において、「③予測入力機能、文字列の先頭の数文字を入力すると、自動的に以前の変換候補を表示できる機能を持つ日本語入力システムを使用する場合は、その機能がオフになっていることを確認してください。」、この注意事項が長い文面なので、《練習》12. 「予測入力機能がオフになっていることを確認しますので、確認できる画面を開いてください。」と関連させて、この文言としたい。

提案通りとする。

○「P77・P79 競技進行手順《競技上の注意》6. ③」を「予測入力機能がオフになっていることを確認してください。」に変更する。

18. 【沖縄県】

大会要項の冊子をデータ化（PDF）し、メールで送る。

〔理由〕 メール添付で送信すれば、大会出場校へ早めに大会要項を届けることができる。大幅な予算の削減になる。本部役員の冊子は事務局で作成する。

沖縄県大会においては、提案通りとする。ただし、訂正した内容に関しては引率者打合せ会議にて配布する。

19. 【沖縄県】

引率者および大会役員の名札を廃止する。ただし、開催県の役員は対応のために着用する。

〔理由〕 各会場の座席表に学校名・氏名等が用意される。

提案通りとする。

20. 【沖縄県】

選手及び補助員などのリボンをシールにする。

〔理由〕 リボンよりシールの準備が簡単で、予算の削減になる。

制服の素材によってシールの粘着力が異なるため剥がれない代替品を再検討する。もし、なければ従来通りのリボンにする。

11月7日（金）

会 場：沖縄県立那覇商業高等学校社会科教室
進 行：沖縄県立那覇商業高等学校 末吉 昇一

- 1 会場視察（沖縄県立那覇商業高等学校）
- 2 分科会報告（ワープロ速度部会・ワープロ技能部会）

速度の部 分科会報告

責 任 者：沖縄県立浦添商業高等学校 内原 正敦
副 責 任 者：沖縄県立浦添商業高等学校 新垣 みゆき
司 会 進 行：沖縄県立中部商業高等学校 伊禮 直浩
記録責任者：沖縄県立浦添商業高等学校 石川 ゆかり
記 録 者：沖縄県立浦添商業高等学校 比嘉 綾乃

1. 【宮崎県】

問題を置く場所について、現行「選手が希望する場所に問題を置く」となっているが、全国大会と同様に「全員、卓上に置く」とできないか。

〔理由〕 原稿台の傾斜が垂直に近い学校（2・3校）は、補助員が用紙を置くのに苦労しました。置いても、用紙が原稿台から落ちます。補助員や競技委員が何度も置きなおします。タイムロスが発生し、全員に配付するまでに時間がかかります。一度置けても、数秒後には落下します。進行に支障が出ています。

キーボードの上に裏返しで置く。選手に置く場所を問わない。問題用紙や印刷用紙の配布については、別紙の通り「P77～P78 競技進行手順」の各箇所を変更・削除する。

責 任 者：沖縄県立南部商業高等学校 幸喜 奈津江
副 責 任 者：沖縄県立名護商工高等学校 島袋 美礼
司 会 進 行：沖縄県立南部商業高等学校 永山 さゆり
記録責任者：沖縄県立南部商業高等学校 山里 結
記 録 者：沖縄県立中部商業高等学校 宮里 靖乃

1. 【宮崎県】

基本採点表の「O」と「Y」について、※印の確認をしていただきたい。（エラーの取り方について）

〔理由〕 令和6年度の議事録には、具体的なエラーの取り方については協議を行わなかったとなっていたため。

【宮崎県】

採点項目 【O単位の右寄せ】について、表を基準にするのか行末を基準にするのか、規定変更を含めて再度確認したい。

〔理由〕 昨年度の代表者会では 表を基準にという申し合わせを行った。

結果、今年度の問題の指示として「下の表からはみ出さないように右寄せする」という採点基準を設けた。

現在の九州大会規定では、＜技能手引—4＞

O 単位の右寄せ 行末からはみ出さないように右寄せされていること。とあるが、採点表の「採点基準」（書体見本や実際の問題）では

O 単位の右寄せ 上の表の（単位：円）が行末からはみ出さないように右寄せされていること

O 単位の右寄せ 上の表の（単位：円）が右寄せされていること

の2種類あることがわかった。

（原因として、各県の採点表データを加工して九州大会の採点表を作成しているために起こったことと考えられる。）

【大分県】

「O. 単位の右寄せ」の表記については、問題文を「下の表からはみ出さないように右寄せする」ではなく、従来の「右寄せする」とすることを要望する。

〔理由〕 九州大会規定に基づいた作問にするため。

O	単位の右寄せ	模範解答のように行末からはみ出さないように、単位が右寄せされていること。 ※左半角1文字分までのずれはエラーとしない。	4点	*	*
Y	担当者等の位置	※ルビが前の行と重なっている場合はエラーとする。 模範解答のように行末からはみ出さないように、担当者が右寄せされていること。 ※行末から左半角1文字分までのずれはエラーとしない。	4点	*	*

規定通りとする。採点表「O」の※の文頭に「行末から」を加える。

【継続審議】採点表「O」に限って、

- ①表を規準にするのか、行末を規準にするのか。
- ②表はないが単位の右寄せがある場合の採点をどうするのか。
- ③表の幅、位置と関係なく単位が右寄せされていればエラーをとらないのか。
- ④規定の見直しをするのであれば、案を持ってくる。

2. 【大分県】

基本採点表の「○. 単位の右寄せ」の採点基準の「※」以下を、「※行末から左半角1文字分までのずれはエラーとしない」とすることを要望する。

〔理由〕 九州大会規定の「採点方法」の「技能手引」にあるように、『行末からはみださないように右寄せされていること』で採点をするため。（「Y. 担当者の位置」と「※」以下を同じ表記とする）

「技能手引-4- ○ 単位の右寄せ」の通りとする。

3. 【鹿児島県】

要望事項として、今年度の九州大会における審査で議論された内容につきまして、改めて確認させていただきたい。

〔理由〕 技能競技においては、答案の内容が多様であるため、採点に際しても様々な視点からの議論が必要となり、今年度の九州大会でも、審査に関して複数の課題が浮かび上がったと認識している。そのため、これらの課題を踏まえ、九州全体で採点方法の統一を図ることで、今後の指導や採点の質の向上につながると考えている。また、作問に関しても、今年度の反省点を共有し、代表者会議において「作問上の手引き」への加除訂正を行うことで、より良い問題作成につなげていけるものと考えている。

「採点の手引」「作問の注意事項」は加除訂正を行っていく。

4. 【熊本県】

各県の問題をPDFだけでなく、Wordデータでも共有することができないか。

〔理由〕 各県よりPDFデータをいただいているため、参考にしながら作問はしている。しかし、本県の現状として、新しい専門委員になる方が少なく、外注も費用面なども含め難しい状況がある。新しく入った人がスムーズに作問に取りかかってもらえるようにすることや、九州の難易度などの確認をしながらの作成もできるため、Wordデータを共有できると有難い考えるため。

書式が崩れることは承知の上、また、データは参考にするが内容を変えることが確認できれば後継者育成にも繋がるため、PDFデータとWordデータを共有してもよい。（作問者の許可を得る。）校長会後の議事録を送るタイミングでデータを一緒に送る。

5. 【佐賀県】

作問しやすい形をとっていただけたら良いと思います。

〔理由〕 技能の作問について、「技能手引-4」技能採点箇所及び配点の、「採点項目・配点」については0～6のように幅を持たせてはどうか？

沖縄県大会は従来通りとする。

このような意見が出たことを各県へ持ち帰って、次年度の協議会で各県の話し合いの内容を情報交換する。最大得点は変更しない。

6. 【佐賀県】

新技能になって8年（1周）がたち全体的な規定等の見直しが必要と思われる。

〔理由〕 以前佐賀県から提案をした際に、まだ1周していない（作問を経験していない県がある）の理由で却下されたこともあるため。また、様々な意見を吸い上げて反映してほしい。

【宮崎県】

昨年度の分科会に置いて「新技能になって8年（1周）がたち全体的な規定等の見直しが必要と思われる。」の提案について、各県からの意見を集約して欲しい。

〔理由〕 令和6年度の議事録には、「現在のところ従来どおりとする。なお継続審議とはしないが、今後、同様な意見が出た際に、各県としての姿勢を示しその年の代表者会で結論が出せるように、代表者は各学校から意見を集約しまとめておく。」となっているため。

2日間の協議会では話し合うには時間が足りない。各県で持ち帰って話し合いをする。全体的な技能問題の見直しが必要であれば、協議会とは別で話し合う場を持つ必要がある。

7. 【福岡県】

技能競技規定（3）純字数650字程度（±5%）を純字数650字程度（±8%）にしてはどうか。

〔理由〕 難易度の調整を作表ではなく文字数でした方がよい。そのため字数の幅を大きくすると調整しやすいのではないかな。

従来通りとする。

8. 【福岡県】

一つの指示による減点を最小限にした方がよい。

〔理由〕 切り上げの問題の配点が大きく、できなければ－16点となる。SとUの採点基準から数値を省くなど工夫してはどうか

なるべく配点箇所が重複していないか等を確認し、採点基準を設定する。

9. 【福岡県】

指示や採点基準の文言を合わせたほうがよい。

〔理由〕 採点基準にぶれが生じるため

提案通りとする。「技能手引」の採点基準に文言を合わせる。技能手引、採点の手引、採点表の表記を同じにする。

10. 【宮崎県】

審査団・3審責任者・3審の役割について、宮崎県大会の検証を行い次年度に引き継いでほしい。

〔理由〕 昨年度の代表者会で仕事量を平準化するために、3審（責任者含む）と審査団の役割を話し合いながら数年かけて明文化していくことを確認している。宮崎大会では3審で合計と得点の計算を行い、責任者と審査団には質問対応と連絡調整に徹していただいた。

このことについて、検証を行い次年度大会以降にいかしてほしい

提案通りとする。

11. 【宮崎県】

「作問の注意事項」と「採点手引」については、審査に関わる新しい事例が出てきたので、そのことを追加して欲しい。毎年、審査団で審議された事例について、必要なものは「採点手引」に掲載し、毎年更新してはどうか。※資料あり

〔理由〕 採点協議に出た意見を蓄積し、今後の採点審査にいかし、スムーズな採点業務にするため。

提案通りとする。

継続審議事項

1. 【佐賀県】

表の項目名の位置については問題文の指示事項と採点表Pの採点基準が一致していない。

〔理由〕 採点表に合わせて、均等割付けでエラーをとるのであれば、問題の指示事項は「枠内で上下左右にかたよらないようにする」ではなく「中央揃えにする」ではないか。問題に合わせるのであれば、採点表の均等割付けでエラーをとらないにする必要があるのでは。

昨年度の回答

指示事項については従来どおり「枠内で上下左右にかたよらないようにする」。
検定試験における採点は、項目名を均等割付けしていてもエラーをとらないことから従来通りの採点基準（※枠内での均等割付けはエラーとする。）か、変更するのかを継続審議とし、次年度の代表者会で決定する。

したがって、宮崎大会では項目名を均等割付けした場合は、エラーとする。

技能手引-4-の通りとする。

責 任 者：沖縄県立那覇商業高等学校 友利 明長
副 責 任 者：沖縄県立那覇商業高等学校 久田 香代子
司 会 進 行：沖縄県立那覇商業高等学校 末吉 昇一
記録責任者：沖縄県立中部商業高等学校 砂川 直子
記 録 者：沖縄県立那覇商業高等学校 大城 美代子

15. 【宮崎県】

参加料の値上げは今後必要かどうか審議していただきたい。

[理由] 物価高騰により、運営に対して予算が絶対的に不足しています。8年前と変わらない予算で同じ大会を行うことは難しくなっています。

予算については別紙4の通り、九州地区商業高等学校長協会各県代表理事会へ提案する。
参加料の変更予定：団体¥5,000 → ¥7,000 個人¥2,000 → ¥3,000

3 全 体 会

(1) 令和8年度第67回九州地区高等学校ワープロ競技運営について

沖縄県立那覇商業高等学校 友利 明長

P16～ 参照

変更内容は本文中に赤字で修正してある。

沖縄県大会では、競技方法が機械の持込または借用となり、従来と異なるため、「競技進行手順」については別紙(沖縄県大会用)を用いて実施する。なお、従来の「競技進行手順」については、今回の分科会ワープロ速度の議題1を除き、変更せずに次回の鹿児島県大会へ引き継ぐ。

(2) 情報交換等

時間の都合により実施無し

4 閉会のことば

司 会 進 行：沖縄県立那覇商業高等学校 教頭 外間 勝

(1) 閉会のことば

沖縄県商業教育研究会競技部 部長

沖縄県立浦添商業高等学校 校長 新垣 安之

(2) その他連絡

【鹿児島県】

第67回九州地区高等学校ワープロ教育研究協議会および各県代表者会議

1. 日時：令和8年11月5日(木)・6日(金)

2. 会場：樟南高等学校

第67回 九州地区高等学校ワープロ競技大会実施要項(案)

- 1 名 称 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会
- 2 目 的 速く正確なタイピング技術や文書作成能力などのパソコン技能の向上とともに、社会人として必要な態度及び資質の育成を目指す。
- 3 主 催 九州地区商業高等学校長協会
- 4 主 管 沖縄県商業教育研究会
- 5 後 援 全国商業高等学校長協会（予定）
沖縄県教育委員会（予定）
沖縄県産業教育振興会（予定）
- 6 期 日 令和8年7月22日（水）
- 7 前日日程 令和8年7月21日（火）
受付・参加料・弁当代支払い・抽選 9:00～11:00 ※沖縄県大会のみ
公 式 練 習 9:30～16:00
引率者打合せ会議 13:30～
電 源 チ ェ ッ ク 14:30～
※選手変更届については「15 選手の変更」を確認してください。
- 8 当日日程 令和8年7月22日（水）
開 門 7:30
公 式 練 習 7:50～ 9:00
選 手 変 更 受 付 7:50～ 8:10
開 会 式 9:15～ 9:45
競 技 10:00～13:00
採点委員打合せ 10:00～
採点・記録集計 10:10～15:00
閉 会 式 15:30～16:30
※開・閉会式は、リモートにより視聴覚室から各県控室で実施する。
- 9 競技会場 沖縄県立那覇商業高等学校
〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目16番1号
Tel : 098-866-6555
Fax : 098-868-3657
- 10 大会事務局 沖縄県立那覇商業高等学校内
第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会事務局
〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目16番1号
Tel : 098-866-6555
Fax : 098-868-3657

11 参 加 資 格

- (1) 団体参加校は、ワープロ速度・ワープロ技能にそれぞれ沖縄県・長崎県・熊本県・佐賀県・大分県・宮崎県は2校以内、福岡県・鹿児島県は3校以内とする。ただし、開催県については更に1校認める。
- (2) 個人参加者は、ワープロ速度・ワープロ技能にそれぞれ各県1名以内とする。
- (3) 1人の選手がワープロ速度・ワープロ技能を兼ねることはできない。
- (4) 全日制・定時制・通信制など異なる課程の併設校は、同一校として出場できるが、団体で出場する場合は、個人として出場することはできない。

12 表 彰

- (1) 速度の部 団体
優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位・第6位を表彰する。
- (2) 技能の部 団体
優勝・準優勝・第3位・第4位・第5位・第6位を表彰する。
- (3) 速度の部 個人
優勝1名・第2位3名・第3位6名を表彰する。
- (4) 技能の部 個人
優勝1名・第2位3名・第3位6名を表彰する。
- (5) 正確賞
速度の部・技能の部とも表彰する。
- (6) 3カ年間連続優勝
団体競技3カ年間連続優勝となった場合は特別表彰を行う。なお、優勝が続いた場合は3年ごとに表彰する。

13 参 加 料 1組 7,000円(予定) ※5月頃に決定する。

1個人 3,000円(予定)

大会前日の受付でお支払いください。

14 選 手 登 録 選手登録の申し込みは、令和8年6月22日(月)までとする。

15 選手の変更 選手登録の中での正選手の変更は、前日の受付または引率者打合せ会議終了及び大会当日の7:50～8:10まで認める。

16 採 点 者 1審・2審は生徒(参加校より各種目1名)

3審 引率者

最終審査 審査団

17 昼 食 代 税込み 700円 7月21日(火)・22日(水)の注文可能。

別紙申込用紙にてお申し込みください。

18 そ の 他 大会直前に開催困難になった場合は、中止する可能性がある。

大会運営全般について

【1】 ワープロ競技大会運営について

- 1 参加校数 ワープロ速度・ワープロ技能の2種目とも規定による。
 (1) 団体は、福岡県・鹿児島県は3校以内、その他の県は2校以内とする。
 ただし、開催県については更に1校認める。
 (2) 個人は、ワープロ速度・ワープロ技能に各県それぞれ1名以内とする。
- 2 参加料 1組 **7,000円(予定)** 1個人 **3,000円(予定)**
- 3 申込締切 令和8年6月**22日(月)** 必着
- 4 申込先 沖縄県立那覇商業高等学校内
 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会事務局
 担当：友利明長
 E-mail:tomorimc@open.ed.jp

5 提出書類

(1) 参加校

- ①大会参加申込書(団体用・個人用)
- ②正選手・補欠・採点補助員変更届
- ③採点補助員変更届(※登録外生徒)
- ④アンケート用紙
- ⑤弁当申込書

(2) 各県本部校

- ①審査役員名簿
- ②出場校一覧表
- ③視察団名簿(次回開催県のみ)

※参加校と各県本部校の提出書類は、文書をPDFにしてExcelデータとともに電子メールに添付して提出してください。

※関係資料は、令和8年5月までに各県本部校に電子メールに添付して送ります。

6 各県委員委嘱

- (1) 審査団 各種目とも各県1名
- (2) 採点委員 **各種目とも審査役員名簿に記載された引率者**
- (3) 生徒採点補助員 各種目とも各校1名

7 受付・抽選 令和8年7月21日(火) **9:00**～11:00 (3年6組教室)

- ・参加料および昼食代金の支払い
- ・選手変更手続き
- ・**リボン**受取 1回目競技者→ピンク 2回目競技者→黄
 3回目競技者→青 4回目競技者→緑
 生徒採点補助員→赤
- ・宅配便伝票配付

8 前日の日程 令和8年7月21日(火)

- 受付・参加料・昼食代金・**抽選** **9:00**～11:00 (3年6組教室)
 公式練習 9:30～16:00 (各競技会場)
 引率者打合せ会議 13:30～ (視聴覚室)
 電源チェック 14:30～ (各競技会場)

9 当日の日程 令和8年7月22日(水)

- 開門 7:30
 公式練習 7:50～ 9:00 (各競技会場)
 選手変更受付 7:50～ 8:10 (3年6組教室)
 開会式 9:15～ 9:45 (視聴覚室・各県控室)
 ※リモート配信
 競技 10:00～13:00 (各競技会場)
 採点委員打合せ 10:00～ (各採点会場)
 採点・記録集計 10:10～15:00 (各採点会場、記録・集計室)
 閉会式 15:30～16:30 (視聴覚室・各県控室)
 ※リモート配信

10 そ の 他

- (1) 競技2回目以降の機械の入れ替えは、前回競技終了者が行ってください。
- (2) 機械の撤収は、全種目競技終了後に放送で案内します。
- (3) 競技問題・成績一覧表は、閉会式後に受付(3年6組教室)で参加校別に配付します。

【2】競技について

- 1 競技進行 第1回目 10:00～10:45 ※準備ができ次第はじめます。
第2回目 10:45～11:30
第3回目 11:30～12:15
第4回目 12:15～13:00
- 2 練習 制限時間は3分とし、問題・印刷用紙については開催県で準備します。

【3】競技大会規定について

九州地区高等学校ワープロ競技大会規定を参照してください。

【4】会場について

- 1 競技会場 ワープロ速度 第5PC教室(産振棟3階)
ワープロ技能 第6PC教室(産振棟3階)
- 2 未競技者控室 第2打者 2年6組教室(B棟3階)
第3打者 2年7組教室(B棟3階)
第4打者 2年8組教室(B棟3階)
- 3 採点会場 ワープロ速度1・2審 国際ビジネス教室(B棟4階)
ワープロ技能1・2審 コミュニケーション教室(B棟5階)
ワープロ速度3審 総合実践教室(C棟5階)
ワープロ技能3審 総合実践教室(C棟5階)
ワープロ速度審査団 総合実践教室(C棟5階)
ワープロ技能審査団 総合実践教室(C棟5階)
- 4 本部 小講義室4(C棟4階)
- 5 各県控室 鹿児島県 1年4組教室(C棟2階)・小講義室2(産振棟2階)
長崎県 1年1組教室(C棟2階)
熊本県 1年2組教室(C棟2階)
佐賀県 1年3組教室(C棟2階)
福岡県 1年5組教室(C棟2階)・小講義室3(産振棟2階)
大分県 多目的教室3(B棟2階)
宮崎県 1年6組教室(B棟2階)
沖縄県 1年7組教室・1年8組教室(B棟2階)
- 6 保管梱包室 鹿児島県・長崎県・熊本県・佐賀県 3年7組教室(B棟1階)
福岡県・大分県・宮崎県・沖縄県 3年8組教室(B棟1階)
- 7 その他 引率者打合せ会場 視聴覚室(管理棟4階)
記録・集計室 情報処理科準備室(C棟4階)
開・閉会式 視聴覚室(管理棟4階)・各県控室
式準備室 社会科教室(管理棟4階)
来賓・役員控室 小会議室(管理棟1階)
引率者控室 第1簿記教室(産振棟2階)
視察団控室 ビジネス計算教室(産振棟2階)
生徒補助員控室 多目的教室4(B棟3階)
救護室 保健室(D棟1階)
宅配受取・発送場所 生徒用玄関(B棟1階)
弁当引渡場所 第2簿記教室(産振棟2階)
受付 3年6組教室(B棟1階)

【5】大会運営留意事項

- 1 機械の確認は行っていないので、確実に整備・調整されたものを持ち込んでください。
- 2 受付では下記の手続きをしてください。
 - ① 参加料および弁当代の支払い
 - ② 正選手変更の有無と採点補助員名の確認

- 3 梱包用の箱等には、県名・学校名・種目名（ワープロ速度・技能）を明記してください。**発送するノート型パソコンの箱には、宅配業者が確認しやすいようにメーカー名を明記してください。**
（【11】その他 8 参照）
 - 4 競技会場への機械持ち込みは、各校原則として1台とします。ただし、異なった機械を使用する場合や予備機械を使用・持参される学校は、競技機の近くに置いてください。
 - （1）電源は各校1つとします。
 - （2）延長コードを必ず持参してください。
 - （3）レーザープリンタは持ち込めません。
 - 5 練習会場はありません。
 - （1）競技会場への入室は、各校3名と引率者1名以内とします。
 - （2）各県控室の電源は使用できないので、キーボードのみで練習をしてください。
- 【6】選手の誘導について
- 1 第1打者の競技者は、開会式後の放送による案内を受け、誘導係に従い競技会場へ移動してください。
 - 2 第2・3・4打者の未競技者は、放送による案内を受け、誘導係に従い下記の各控室へ移動してください。その後、誘導係の指示に従い競技会場へ移動してください。
 ワープロ速度・技能 第2打者控室 2年6組（B棟3階）
 第3打者控室 2年7組（B棟3階）
 第4打者控室 2年8組（B棟3階）
 - 3 競技終了者は、未競技者と接触しないように、誘導係に従い各県控室へ移動してください。全競技が終了するまでは、各県控室以外には立ち入らないようにしてください。
 - 4 生徒採点補助員は、放送による案内を受け、誘導係に従い各審査会場へ移動してください。
 - 5 競技に参加しない生徒は、関係のない場所へ出入りせず、各県控室にて静かに待機してください。
- 【7】申込書式について
- 1 事務局が、関係資料をメールに添付して各県本部校に送信します。
 - 2 各県本部校は、関係資料をメールに添付して各出場校に送信してください。
 - 3 各出場校は、各申込書式に必要事項を入力し、事務局（指定されたメールアドレス）に①Excel データと②PDFにしたデータの両方を送信してください。
 - 4 申込書のデータファイルを受信したら、各出場校へ確認メールを返信します。
 - 5 弁当の申し込みは、別紙の「弁当申込書」で申し込んでください。当日の申し込みはできません。
- 【8】服装について
- 1 各学校指定の制服とします（はちまきの使用は可能）。選手や採点補助員は、受付で配付されたリボンを左胸または右肩に付けてください。
- 【9】食事について
- 1 昼食（お茶付き）は、1日目・2日目ともに第2簿記教室（産振棟2階）で受け取り、各県控室で取ってください。食事後の弁当のからは、第2簿記教室（産振棟2階）までお持ちください。
 - 2 校舎内には飲み物の自動販売機がありません。
 - 3 会場校はペットボトルや缶のごみ処理をしていないので、各自で持ち帰ってください。
- 【10】駐車場について
- 1 駐車スペースの確保が難しいので、公共交通機関を利用してください。
 - 2 駐車場準備のため、交通手段について「アンケート調査用紙」へ入力し、事務局（指定されたメールアドレス）へ送信してください。
- 【11】その他
- 1 競技会場内への選手および関係委員以外の立ち入りを禁止します。
 - 2 補欠選手（第4打者）は、競技には参加しますが、採点はしません。
 - 3 生徒採点補助員には、事前に採点方法等の指導を顧問で確実に行ってください。
 - 4 **携帯電話等の使用は、全競技が終了するまで控えてください。**
 - 5 校舎内の履物は靴（外履き）で構いません。競技会場内では靴を脱ぐので、履き違いがないように靴入れ袋を持参してください。

- 6 折鶴や携帯電話、携帯音楽プレーヤー等、競技に必要な物・支障をきたす物の持ち込みは一切禁止します。
- 7 機械を会場校に送る場合は、期日・時間指定（7月16日（木）：午前中）にしてください。

＜送付先＞
〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目16番1号
沖縄県立那覇商業高等学校内
第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会事務局
友利明長 宛
Tel：098-866-6555 Fax：098-868-3657

- 8 機械の発送を希望する学校は、7月21日（火）の受付で宅配便伝票を受け取り、事前に必要事項を記入しておいてください。元払いは時間がかかるので着払いの協力をお願いします。宅配便発送場所は、ホール生徒用玄関（B棟1階）とします。

＜配送業者＞
沖縄ヤマト運輸(株) 那覇中央営業所
沖縄県那覇市西2丁目24-9
Tel:0570-200-000（コールセンター）

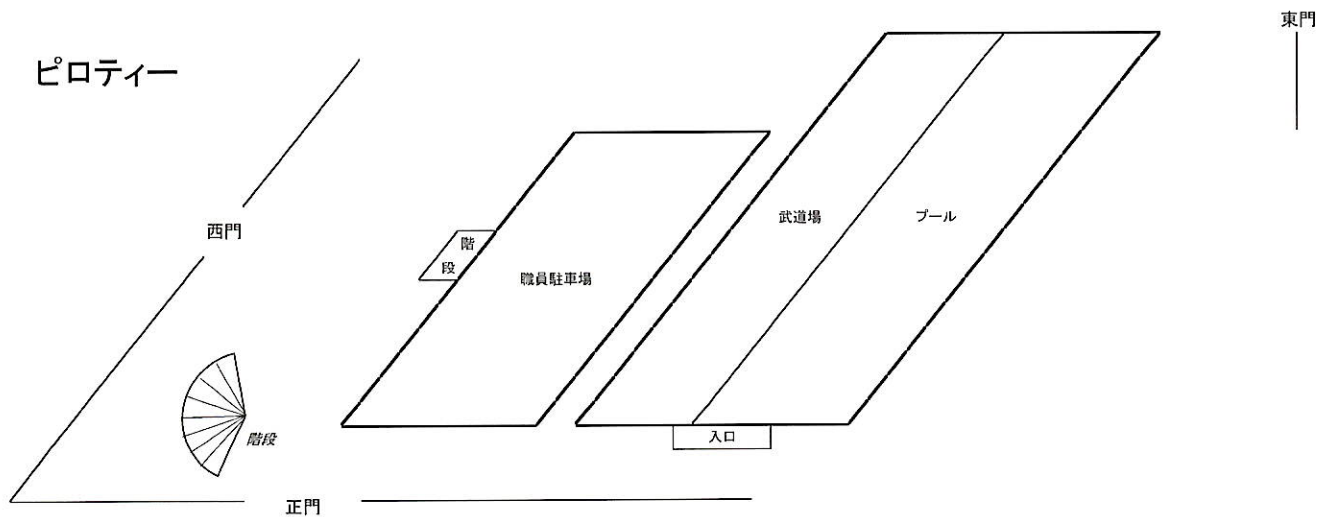
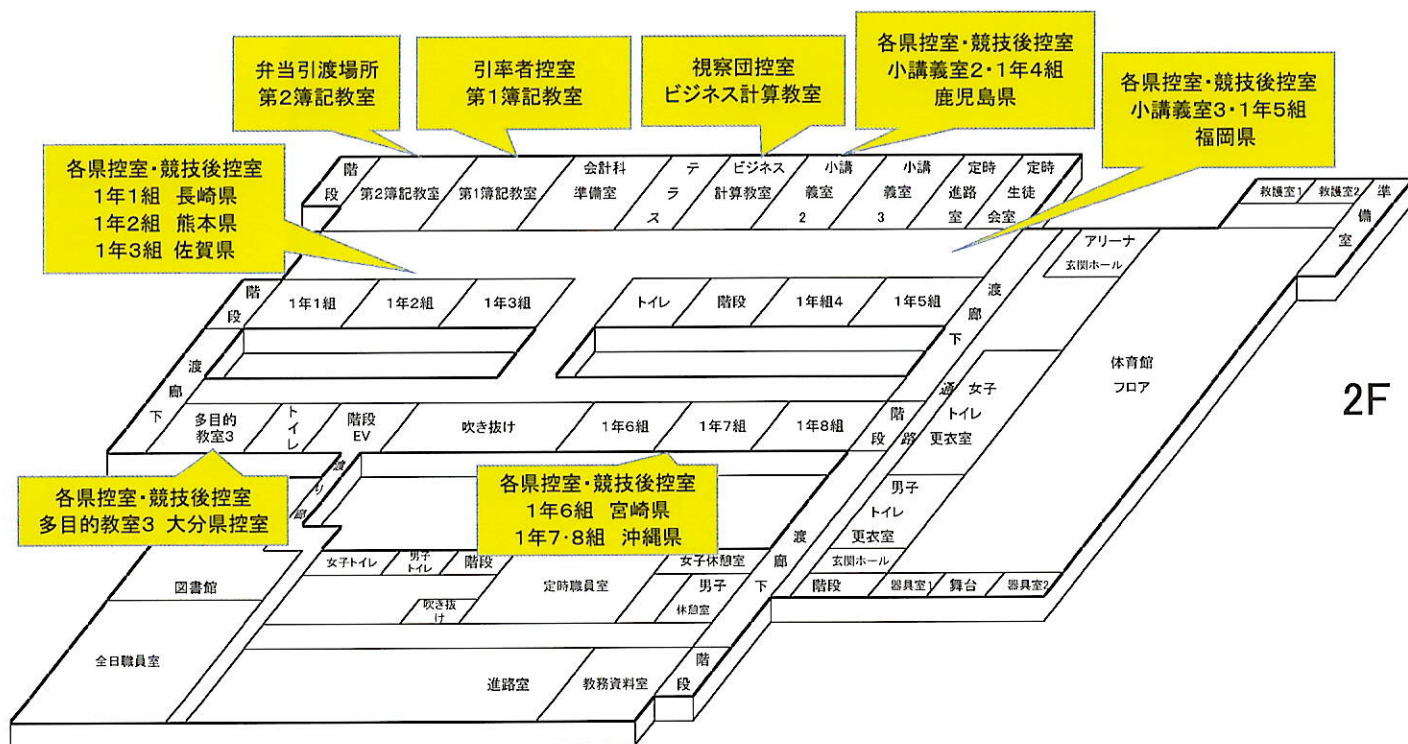
なお、事前にヤマト運輸には依頼しますが、集配時間については打ち合せ会で連絡します。

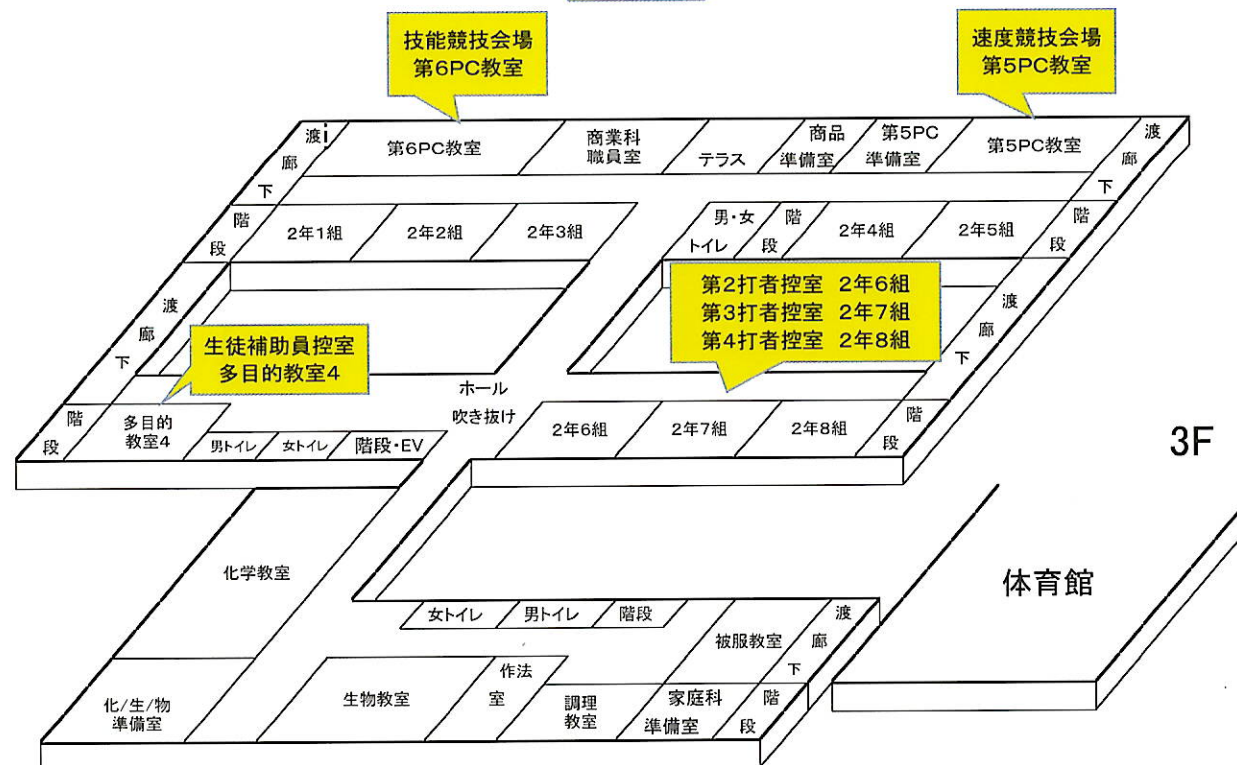
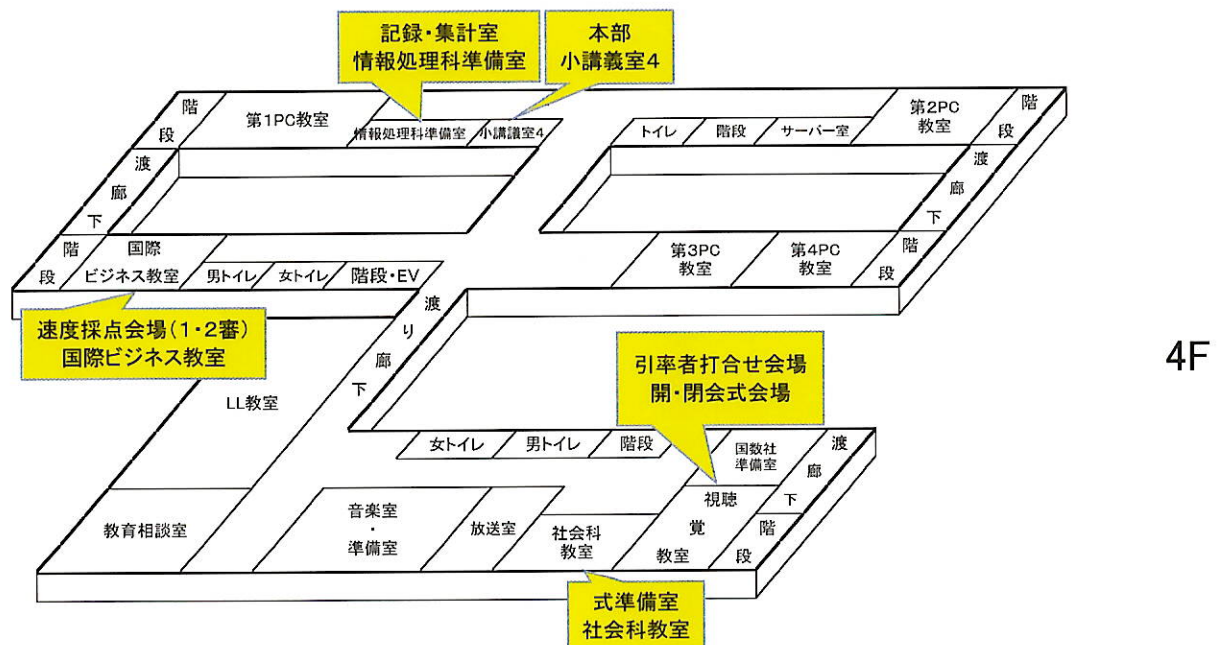
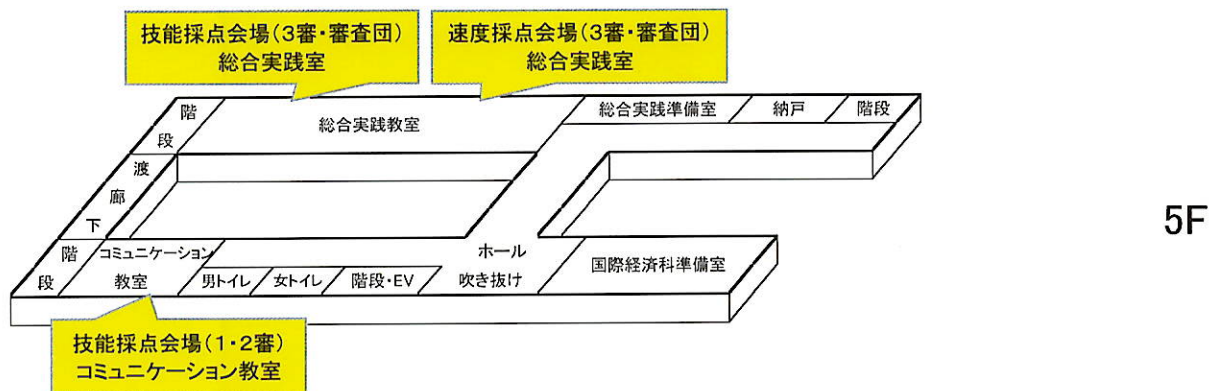
東京へのパソコンの発送は航空便で3日間を必要としますが、インクジェットプリンタは船便なので、10日～14日かかります。

「Panasonic Let's note」は配達されないので、気をつけてください。

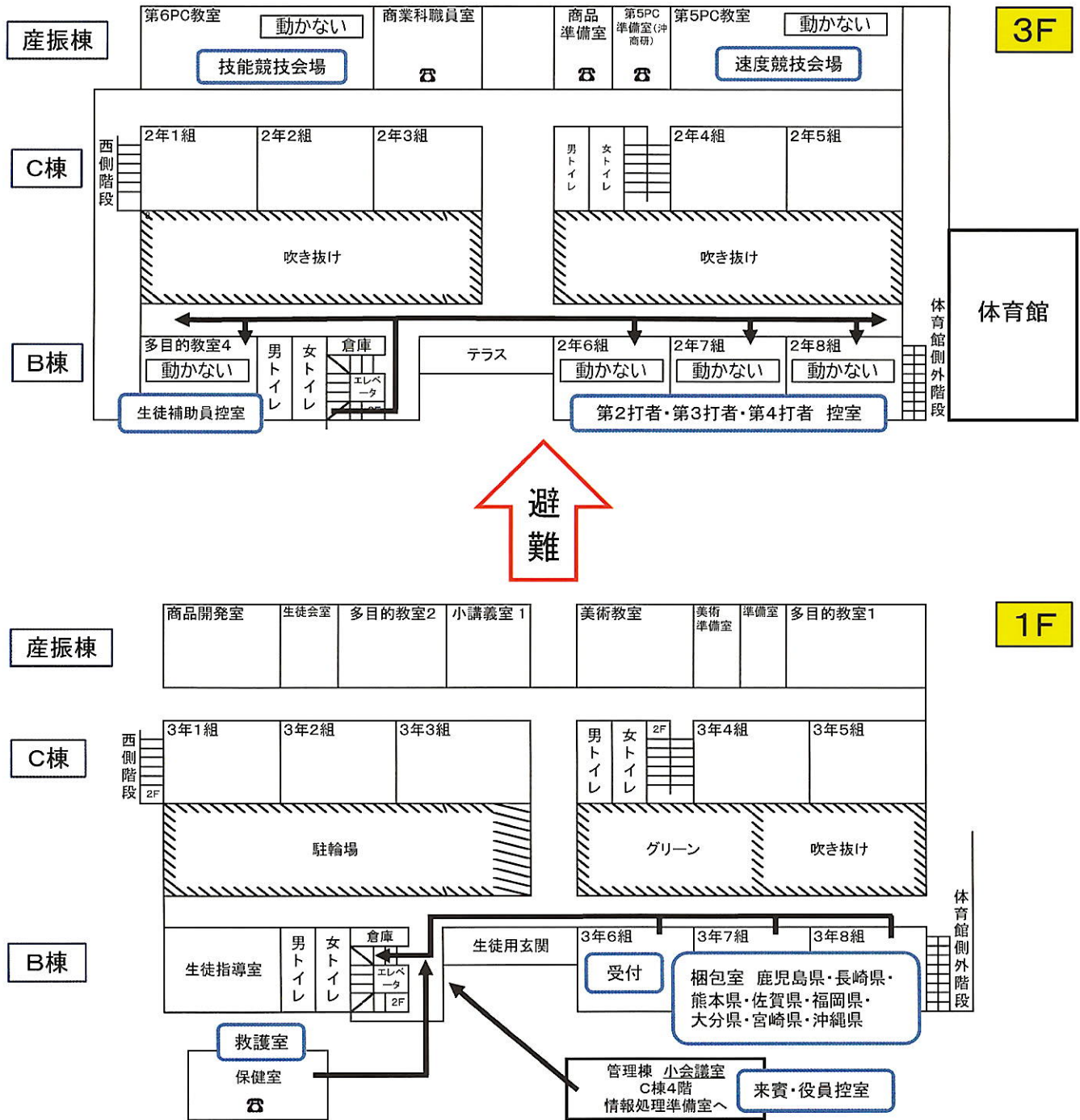
- 9 熱中症対策のためペットボトルや水筒の準備をし、十分な水分補給を行ってください。ただし、競技会場での飲食は一切禁止とする。

会場案内図





会場避難経路図

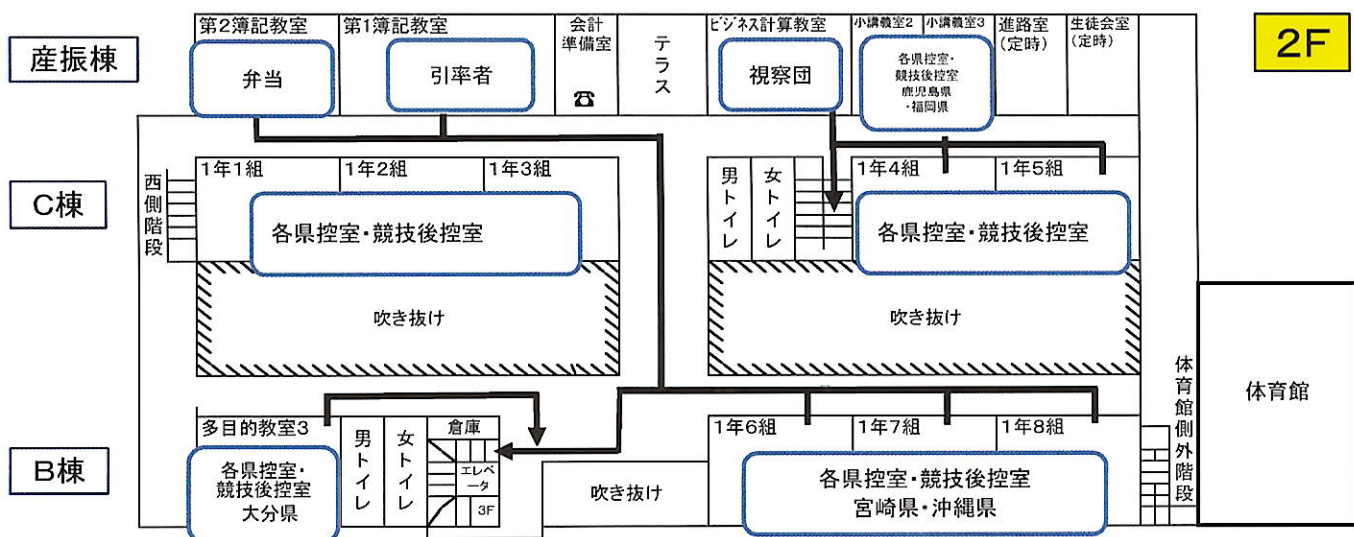
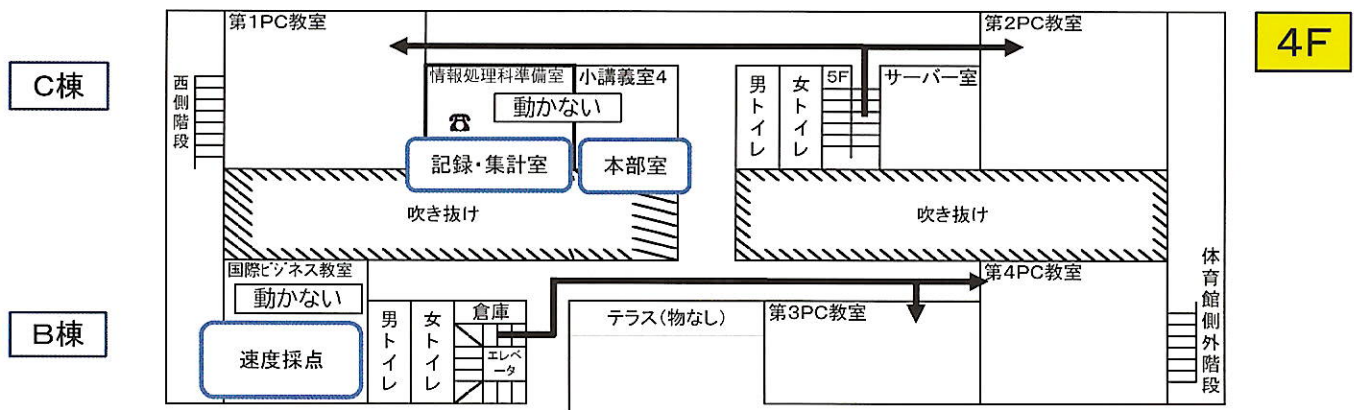
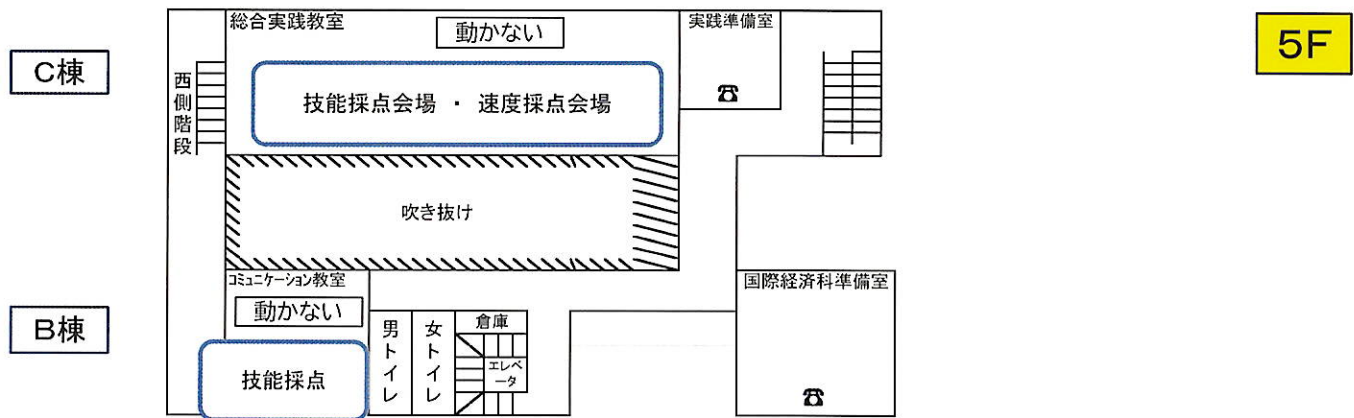


【大会期間中の避難場所について】

- 地震—
各自、身を守る行動をとる（シェイクアウト）
その後の指示を受けるまでその場で待機
- 津波警報発令—
経路の安全を確かめて、生徒・役員は、
B棟・C棟・産振棟3階 もしくは
B棟・C棟4階以上 に避難する

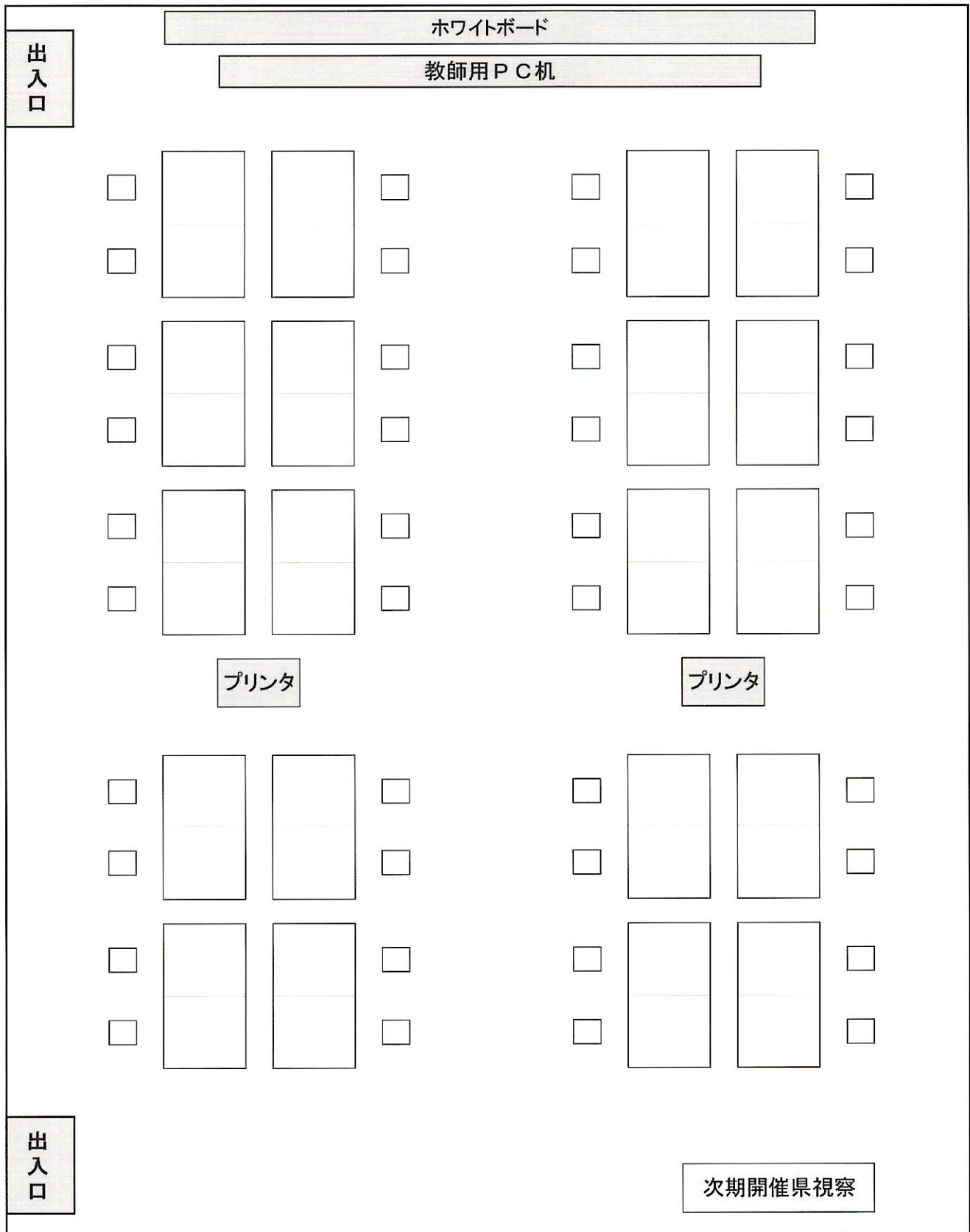
【大会参加者】

選手	_____名
引率者	_____名
役員	_____名
補助役員	_____名
計	_____名



競技会場予定配置図 ワープロ速度

【第5 P C教室】

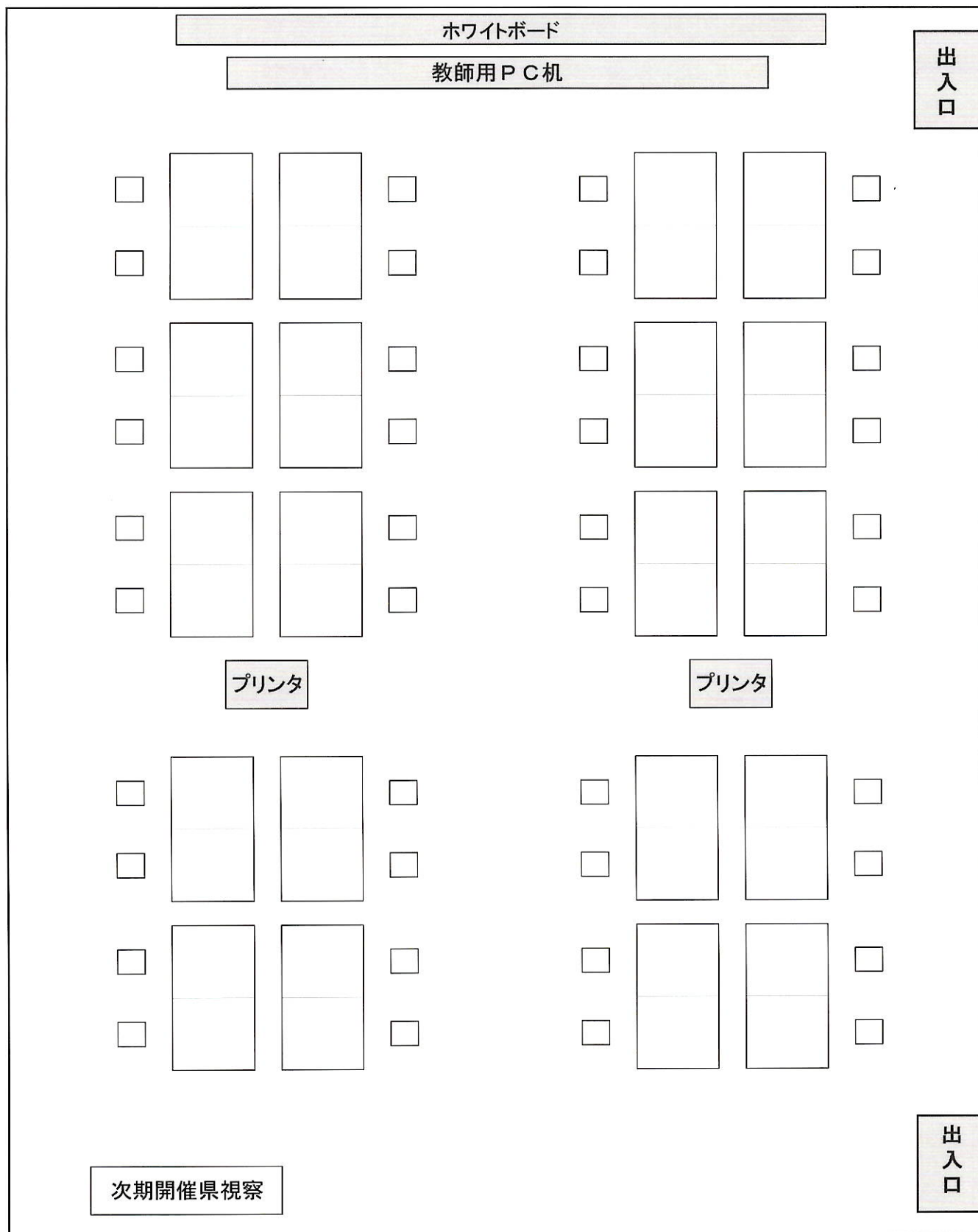


※ 団体・個人ともに、2校で1台の机を共用する。機械持込校が少ない場合は、機械持込校は1校で1台の机を使用する。

※ 視察団は、第4打者と同時に入場し、競技終了後に退場する。途中の入退場はできない。

競技会場予定配置図 ワープロ技能

【第6PC教室】



※ 団体・個人ともに、2校で1台の机を共用する。機械持込校が少ない場合は、機械持込校は1校で1台の机を使用する。

※ 視察団は、第4打者と同時に入場し、競技終了後に退場する。途中の入退場はできない。

競技用 机・椅子の規格

1. ワープロ速度（第5 P C 教室）・ワープロ技能（第6 P C 教室）の団体用・個人用が下図の机・椅子を使用する。



- P C 机：縦 6 0 c m × 横 1 7 0 c m 高さ：6 5 c m
- 椅子（座面）：縦 4 6 c m × 横 4 5 c m 高さ：4 4 c m ～ 5 4 c m

2. 2 校で 1 台の机を共用する。沖縄県大会は、機械の持込または借用の方法で競技が行われるため、次のように机の使用となる。



機械持込校用(イメージ)



機械借用校用

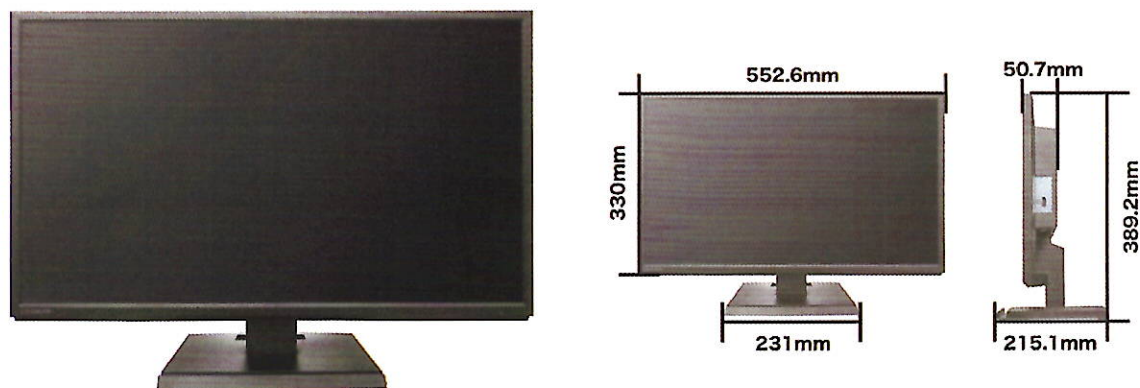


机は対面で向かい合わせとなる

借用パソコン

デスクトップパソコン HP Pro Mini 400 G9/CT

液晶ディスプレイ（メーカー名：Iodata 形式：LCD-AH241EDB-B）



OS : Windows

使用ソフトウェア : Microsoft® Word for Microsoft 365 MSO

(バージョン 2509 ビルド 16.0.19231.20138) 64 ビット

日本語入力システム : IME (最新)

九州地区高等学校ワープロ競技大会開催県割当表

年度 回数	R1 60	R2 61	3 62	4 63	5 64	6 65	7 66	8 67	実施日	会 場 校	9 68	10 69	11 70	12 71	13 72	14 73
鹿 児 島	○								7/24	樟 南	○					
長 崎		○							実施なし	佐世保商業		○				
熊 本			○						7/26	熊 本 商 業			○			
佐 賀				○					7/1	佐 賀 商 業				○		
福 岡						○			7/25	久留米商業					○	
大 分					○				7/25	大 分 商 業						○
宮 崎							○		7/22	宮 崎 商 業						
沖 縄								○	7/22	那 覇 商 業						

令和 7 年度九州地区高等学校県ワープロ本部校一覧

県 名	学 校 名	住 所	電 話 ・ F A X
鹿児島県	鹿児島女子高等学校	〒890-0012 鹿児島市玉里町 27 番 1 号 e-mail:t771503m@kago.ed.jp	Tel:099-223-8341 FAX:099-222-9135
長崎県	長崎市立 長崎商業高等学校	〒852-8157 長崎県長崎市泉町 1125 e-mail:odahara@nchs.ed.jp	Tel:095-887-1511 FAX:095-887-1526
熊本県	熊本県立 八代東高等学校	〒866-0866 熊本県八代市鷹辻町 4-2 e-mail:oka-a-oi@mail.bears.ed.jp	Tel:0965-33-1600 FAX:0965-35-8857
佐賀県	佐賀県立 佐賀商業高等学校	〒840-0804 佐賀市神野東 4 丁目 12 番 40 号 e-mail:oda-kozuc@education.saga.jp	Tel:0952-33-5346 FAX:0952-33-5346
福岡県	福岡県立 宇美商業高等学校	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野 52-1 e-mail:oobuchi-y@fku.ed.jp	Tel:092-932-0135 FAX:092-933-8778
大分県	大分県立 大分商業高等学校	〒870-0931 大分県大分市西浜 4 番 2 号 e-mail:gotou-makiko@oen.ed.jp	Tel:097-558-2611 FAX:097-552-8120
宮崎県	宮崎県立 都城商業高等学校	〒885-0053 宮崎県都城市上東町 31 街区 25 号 e-mail:bunsho@miyazaki-c.ed.jp	Tel:0986-22-1758 FAX:0986-22-1759
沖縄県	沖縄県立 浦添商業高等学校	〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖 3 丁目 11 番 1 号 e-mail:miyagsw@open.ed.jp	Tel:098-877-5844 FAX:098-877-4305

申 込 書 式

- 1 大会参加申込書（団体用）
- 2 大会参加申込書（個人用）
- 3 正選手・補欠・採点補助員変更届
- 4 採点補助員変更届（※登録外生徒）
- 5 アンケート用紙
- 6 弁当申込書
- 7 出場校一覧表
- 8 審査役員名簿
- 9 視察団名簿

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

学校名 (課程)

校長名

大会参加申込書（団体用）

県		県		位		※参加番号			
部 門		ワープロ速度							
ふりがな						TEL			
学校名		(課程)				FAX			
所在地		〒							
ふりがな									
引率者氏名									
緊急連絡先（携帯電話等）									
選手	氏 名	ふりがな	学年	OS	使用ソフト (Ver)	日本語入力システム (Ver)			
正選手									
正選手									
正選手									
補欠 (第4打者)									
補欠 (採点補助員)									
機械持込台数		台		予備機械台数			台		

- 〔注意〕
- ※のところは入力しないでください。
 - 申込期限 **令和8年6月22日(月)** 必着とします。
この書式のPDFとExcelデータの両方のファイルを添付してメールにて送信してください。
E-mail : tomorimc@open.ed.jp
 - 登録選手5名の中での正選手3名と補欠2名の交替、および補欠2名のうち生徒採点補助員の届出について変更があれば、7月21日(火)の受付または引率者打合せ会議時および大会当日7:50~8:10までに「正選手・補欠・採点補助員変更届」を必ず提出してください。
 - 機械の持込台数は、各学校1台とします。ただし、異なった機種及び予備機を持参した場合は、競技机の下または近くに置いてください。
 - レーザープリンタは使用できません。
 - 4名参加の場合は、第4打者を空欄にして採点補助員を優先して入力してください。
 - 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。
 - 緊急連絡先は、携帯電話など確実に連絡がとれる番号をお願いします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

学校名 (課程)

校長名

大会参加申込書（団体用）

県		県		位		※参加番号			
部 門		ワープロ技能							
ふりがな						TEL			
学校名		(課程)				FAX			
所在地		〒							
ふりがな									
引率者氏名									
緊急連絡先（携帯電話等）									
選手	氏 名	ふりがな	学年	OS	使用ソフト (Ver)	日本語入力システム (Ver)			
正選手									
正選手									
正選手									
補欠 (第4打者)									
補欠 (採点補助員)									
機械持込台数		台		予備機械台数		台			

- 〔注意〕
- ※のところは入力しないでください。
 - 申込期限 **令和8年6月22日(月)** 必着とします。
この書式のPDFとExcelデータの両方のファイルを添付してメールにて送信してください。
E-mail : tomorimc@open.ed.jp
 - 登録選手5名の中での正選手3名と補欠2名の交替、および補欠2名のうち生徒採点補助員の届出について変更があれば、7月21日(火)の受付または引率者打合せ会議時および大会当日7:50~8:10までに「正選手・補欠・採点補助員変更届」を必ず提出してください。
 - 機械の持込台数は、各学校1台とします。ただし、異なった機種及び予備機を持参した場合は、競技机の下または近くに置いてください。
 - レーザープリンタは使用できません。
 - 4名参加の場合は、第4打者を空欄にして採点補助員を優先して入力してください。
 - 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。
 - 緊急連絡先は、携帯電話など確実に連絡がとれる番号をお願いします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

学校名 (課程)

校長名

大会参加申込書（個人用）

県		※参加番号				
部 門	ワープロ速度					
ふりがな	(課程)				TEL	
学校名					FAX	
所在地	〒					
ふりがな	-----					
引率者氏名						
緊急連絡先(携帯電話等)						
選手	氏 名	ふりがな	学年	OS	使用ソフト (Ver)	日本語入力 システム(Ver)
個人						
補助生徒 (マネージャー)						
機械持込台数		台	予備機械台数			

- 〔注意〕
- ※のところは入力しないでください。
 - 申込期限 令和8年6月22日(月) 必着とします。
この書式のPDFとExcelデータの両方のファイルを添付してメールにて送信してください。
E-mail : tomorimc@open.ed.jp
 - 機械の持込台数は、各学校1台とします。ただし、予備機を持参した場合は、競技機の下または近くに置いてください。
 - レーザープリンタは使用できません。
 - 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。
 - 補助生徒(マネージャー)の変更の手続きは不要とする。
また、選手としての出場はできません。
 - 緊急連絡先は、携帯電話など確実に連絡がとれる番号をお願いします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

学校名 (課程)

校長名

大会参加申込書（個人用）

県		※参加番号				
部 門	ワープロ技能					
ふりがな					TEL	
学校名	(課程)				FAX	
所在地	〒					
ふりがな						
引率者氏名						
緊急連絡先(携帯電話等)						
選手	氏 名	ふりがな	学年	OS	使用ソフト (Ver)	日本語入力 システム(Ver)
個人						
補助生徒 (マネージャー)						
機械持込台数		台	予備機械台数		台	

- 〔注意〕
- ※のところは入力しないでください。
 - 申込期限 令和8年6月22日(月) 必着とします。
この書式のPDFとExcelデータの両方のファイルを添付してメールにて送信してください。
E-mail : tomorinc@open.ed.jp
 - 機械の持込台数は、各学校1台とします。ただし、予備機を持参した場合は、競技機の下または近くに置いてください。
 - レーザープリンタは使用できません。
 - 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。
 - 補助生徒(マネージャー)の変更の手続きは不要とする。
また、選手としての出場はできません。
 - 緊急連絡先は、携帯電話など確実に連絡がとれる番号をお願いします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

正選手・補欠・採点補助員変更届

県	
部 門	ワープロ速度 ・ ワープロ技能
学 校 名	高等学校 (課程)
引率者名	

【登録時】

区 分	競技番号	ふりがな 氏 名
正選手 補欠(第4打者) 補欠(採点補助員)		
正選手 補欠(第4打者) 補欠(採点補助員)		
正選手 補欠(第4打者) 補欠(採点補助員)		
正選手 補欠(第4打者) 補欠(採点補助員)		

【変更後】

区 分
欠 席 正選手 第4打者 補 欠
欠 席 正選手 第4打者 補 欠
欠 席 正選手 第4打者 補 欠
欠 席 正選手 第4打者 補 欠

→

→

→

→

- 〔注意〕
- 1 「部門」の欄は、該当競技を○印で囲んでください。
 - 2 「区分」の欄は、該当する選手区分を○印で囲んでください。
 - 3 欠席により、参加生徒が4名になる場合は、採点補助員を優先してください。
その学校の第4打者はいないものとします。
 - 4 この用紙は、正選手・補欠・採点補助員を変更する場合に提出してください。
 - 5 令和8年7月21日(火)の受付または引率者打合せ会議および
大会当日の7:50～8:10までに提出してください。
 - 6 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

採点補助員変更届（※登録外生徒）

県	
部 門	ワープロ速度 ・ ワープロ技能
学 校 名	高等学校 （ 課程）
引率者名	

登録後、事情により「採点補助の生徒」が参加できなくなり、「登録外の生徒」を採点補助員として参加させる場合、下欄に記入してください。

区分	競技番号	氏 名
【登録時】 補欠(採点補助員)		

区分	ふりがな 氏 名
新規採点補助員	

- 〔注意〕 1 令和8年7月21日（火） 受付までに提出してください。
- 2 可能であれば、7月10日（金）までにメールでこの様式をお送りください。
E-mail: tomorimc@open.ed.jp
- 3 「部門」の欄は、該当競技を○印で囲んでください。
- 4 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会
アンケート用紙

[illegible]

※ 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。

※ 提出期限 令和8年6月22日（月）必着とします。

送 付 先	〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目16番1号 沖縄県立那覇商業高等学校 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会事務局 友利 明長 E-mail : tomorimc@open.ed.jp
-------	---

令和8年度 第67回 九州地区高等学校ワークプロ競技大会

弁 当 申 込 書

申込締切日	令和8年6月22日(月) 必着		
お申込み日	令和8年	月	日

県 名	県		
学 校 名	高等学校 (課程)	連絡担当者	
学校所在地	(〒)		
TEL	() -		
FAX	() -		
種 別	必要弁当数		備考(要望事項等)
	前日21日(火)	当日22日(水)	
生 徒	個	個	
引 率 者	個	個	
合 計	個	個	
(お茶付き700円) 合計 個 × ￥700 = 円			
【 備 考 】			
● ご注文の弁当代については、前日7月21日(火)の受付時にお支払いください。 ● 申込欄が不足の場合はコピーしてご利用ください。 ● 引率者は本申込用紙をコピーしてお手元に保管ください。 ● 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。 ● この書式のPDFとExcelデータの両方のファイルを添付してメールにて送信してください。		【お問合せ先・申込】 〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目16番1号 沖縄県立那覇商業高等学校内 第67回九州地区高等学校ワークプロ競技大会 事務局 友利 明長 Tel : 098-866-6555 Fax : 098-868-3657 E-mail : tomorimc@open.ed.jp	

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

本部長名

校 長 名

出 場 校 一 覧 表

県

《ワープロ速度の部》

団体1位	(課程)
団体2位	(課程)
団体3位	(課程)
個人出場	(課程) 氏名

《ワープロ技能の部》

団体1位	(課程)
団体2位	(課程)
団体3位	(課程)
個人出場	(課程) 氏名

※ 出場校名は、県予選の成績（順位）順に記載してください。

団体3校まで出場可能な県のみ、団体3位の欄に記載してください。

※ 課程の欄には、全日制・定時制・通信制のいずれかを記入してください。

※ 各県本部長より提出をお願いします。

※ 申込期限 令和8年6月22日（月） 必着とします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

本部校名

校 長 名

審 査 役 員 名 簿

県

《ワープロ速度の部》

採点経験

審 査 団	高等学校	先生	
採点委員	高等学校	先生	
	高等学校	先生	
	高等学校	先生	

《ワープロ技能の部》

採点経験

審 査 団	高等学校	先生	
採点委員	高等学校	先生	
	高等学校	先生	
	高等学校	先生	

※ 採点経験は、県大会等での採点の有無を記入してください。

※ 各県本部校より提出をお願いします。

※ 個人出場の場合も引率者は役員になります。

※ 申込期限 令和8年6月22日（月） 必着とします。

令和8年度 第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

第67回九州地区高等学校ワープロ競技大会

会 長 ○○ ○○ 様

本部校名

校 長 名

視 察 団 名 簿

鹿児島県

高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生
高等学校	先生

注文（お茶つき¥700） ※代金は受付にてお支払いください。

前日（ ）個 合計（ ）円

当日（ ）個 合計（ ）円

※ 申込期限 令和8年6月22日（月） 必着とします。